

令和6年度事業報告

令和6年5月1日～令和7年4月30日まで

公益社団法人 ア・ドリーム ア・デイ

【活動経過】

令和6年度は、新型コロナウイルス感染症の流行による活動自粛のために待機いただいております病児ならびにそのご家族を優先し、13家族の受入れ調整を行いました。2家族が病児の体調悪化のため直前キャンセルとなったため、12病児11家族の受入れを実施いたしました。

具体的には、5月に鹿児島県より20歳（申込時は18歳以下でしたが、コロナ禍で2年以上待機頂いておりました方）の脳性麻痺を患う病児とそのご家族、6月には沖縄県より7歳のペナショッカー症候群を患う病児とそのご家族、7月には沖縄県より18歳の脊髄性筋萎縮症類似疾患 SMARD1 を患う病児とそのご家族、9月には熊本県より9歳の新生児低酸素性虚血性脳症・慢性肺疾患を患う病児とそのご家族、10月には鹿児島県より13歳の脳幹腫瘍を患う病児とそのご家族、11月には大阪府より11歳のムコ多糖症Ⅱ型を患う病児とそのご家族、同じ11月に茨城県より福山型筋ジストロフィーのごきょうだい（25歳、23歳）とそのご家族、1月には福島県より6歳の18トリソミーを患う病児とそのご家族、2月には大阪府より変容性骨異形成症を患う病児とそのご家族、4月には東京都より13歳の18トリソミーを患う病児、同じ4月に沖縄県より5歳の慢性肺疾患・難治性てんかんを患う病児とそのご家族の受入れを実施いたしました。いずれの病児ならびにご家族も、同行ボランティアと共に、とても貴重な素晴らしい時間を過ごして頂くことが出来ました。

また、当法人は2024年2月で一般社団法人となって15周年、2025年3月には公益社団法人に移行して10周年の節目を迎えました。これを機に、活動をさらに広げ、より多くの難病児とそのご家族を支援することを目指して、2025年2月に法人名称から「IN TOKYO」を外して、「公益社団法人 ア・ドリーム ア・デイ」に名称変更を行いました。

なお、15周年記念企画と致しまして、2025年3月3日～3月9日の1週間限定チャリティーとして京都発のチャリティー専門ファッションブランド JAMMIN（ジャミン）とのコラボレーションを行い、チャリティグッズ販売も実施いたしましたことをご報告申し上げます。

1. 難病児の受入れ推進

難病児とそのご家族の旅行招待事業については、新型コロナウイルスの感染症の流行により待機をして頂いていたご家族の受入れを実施し、さらに新たにお申込み頂きましたご家族を緊急受入れも含めご招待いたしました。今年度は関東在住の方の宿泊を伴わない日帰りの支援も試験的に実施し、より多くの病児ご家族が多くの体験ができるよう活動を行った。

2. 会費・寄附金の獲得状況

○ 財源確保状況： 19,097,041 円

令和 6 年度に企業・団体・個人の皆様からいただいたご支援の内訳は下記の通りです。(以下、敬称略)

■社員会費 140,000 円

天野 功二 (¥10,000) 他 13 名

■寄附金 17,757,041 円

インサイドアジアツアーズ・リミテッド (2,155,953 円) (特定寄附金)

ニッタン株式会社 (990,000 円)

三菱ロジスネクスト株式会社 (500,000 円)

三菱重工業株式会社 (500,000 円)

株式会社ノジマステラスポーツクラブ (499,670 円)

AIRUCA 株式会社 (300,000 円)

西華産業株式会社 (200,000 円)

原田工業株式会社 (200,000 円)

株式会社クリハラント (100,000 円)

株式会社ソレイユ (100,000 円)

合同会社 DONOR (100,000 円)

三菱製鋼株式会社 (100,000 円)

MS&AD ゆにぞんスマイルクラブ (100,000 円)

前川篤 (100,000 円)

掛江正通 (100,000 円)

インサイドアジアツアーズ・リミテッド (98,244 円) (一般寄附金)

ボランティアベンダー協会 (90,564 円)

松隈竜二 (80,000 円)

下村昌喜 (70,000 円)

籠島渉 (65,000 円)

神園類 (65,000 円)

菱山豊 (50,000 円)

足立大樹 (10,000 円)

立間かをる (10,000 円)

宮内孝久 (10,000 円)

宮川真吾 (10,000 円)

村山隆夫 (10,000 円)

二宮昌恵 (9,400 円)

齋藤美和 (8,900 円)

篠塚貴子 (8,900 円)

合野優樹 (6,500 円)
高木優也 (6,000 円)
ヤフークレジット寄附 (188,873 円)
マンスリーサポーター (171,000 円)
株式会社ブギ 本棚お助け隊 (古本チャリティ・フクチャリ) (90,564 円)
匿名他 (692,700)
一家明成 (10,000,000 円) (特定寄附金)

■助成金 900,000 円

日本労働組合総連合会 連合愛のカンパ (900,000 円)

■賞金 300,000 円

公益財団法人 社会貢献支援財団 (日本財団特別賞) (300,000 円)

■その他 物品寄附

- 合野優樹：テプラシール
- AIRUCA 株式会社：カメラ及びグリップ
- 高橋公太：トランプ、カメラケース、マイクロ SD カード、コピー用紙、
モバイルバッテリー
- 三ツ井結子：キャリーケース
- 金延純男：プリンター、WEB カメラ
- 小林直子：クリアポケットファイル
- 木家麻里：クリアポケットファイル、トナー
- 中川裕子：加湿器、A3 用紙
- 匿名：UNO (プラスチック製)
- 匿名：事務用品 (ファイル、ペン、クリップ)
- 匿名：マルチハブ
- 匿名：スティックのり

3. 運営報告

○資金調達

個人・企業からのご寄附と助成金で資金調達を行っております。2023 年 12 月には寄附月間として「12 Giving December 寄附月間 2024」の賛助パートナーに登録し、ご寄附を集めるための賛同企画として古本チャリティ募金及びフクチャリ (古着でご寄附)、マンスリーサポーター募集を実施いたしました。公益財団法人 社会貢献支援財団より日本財団特別賞として PC 購入費用として 300,000 円授与頂きました。

また、2025 年 4 月には公益財団法人 ノエビアグリーン財団による助成金が旅行支援事業に授与されることとなりました。

その他、ご寄附のご案内を広く発信するために、SNS では X、Facebook、Instagram にて継続的に発信をしております。

○SMBC 日興証券株式会社によるご支援

SMBC 日興証券株式会社によるプロボノにて、名の皆様よりご支援を頂いた。具体的には、法人リーフレット作成、ポスター（モザイクアート）作成、寄附戦略（助成金申請先リスト、法人リストなど）、他団体とのヒヤリングに取組み、成果物を頂戴いたしました。

○15 周年チャリティグッズ販売

3 月 3 日～3 月 9 日の 1 週間限定チャリティーとして京都発のチャリティー専門ファッションブランド JAMMIN（ジャミン）とのコラボレーションを行い、チャリティグッズ（T シャツ、パーカー、スウェット、トートバック、ポーチなど）販売を行いました。

T シャツなど 1 アイテムのご購入につき 700 円が私たちの活動に寄附され、今回のチャリティーでは総額 211,390 円のご寄附を頂戴いたしました。

また、毎日新聞の朝刊にも掲載され、ご寄附やボランティアのお申込みを頂くなど周知・広報にもつながった。

○業務体制

昨年同様に本年度も昨年度と同様に組織基盤強化の取組みを進めました。具体的には、理事 2 名の増員、選考委員 1 名の増員、規程（理事の職務権限に関する規程、事務局規程、リスク管理規程、社員規程、選考規程）の改訂、事務局運営において定期オンラインミーティング（毎週）の実施、ガバナンス強化にむけた役員業務の分担見直しの検討、PC を増やすことで過去資料の電子化及びクラウド管理の推進、ボランティアの受入れ体制の再構築等を行いました。名称変更に伴い、ロゴの改訂やプロボノ支援を受けリーフレットの改訂なども行いました。

また、昨年度に引き続き、ICT の活用として、Facebook 及び X、Instagram を活用し、受入れ支援等の活動報告、ご寄附の依頼等の情報発信をいたしました。また病児ご家族との連絡および旅行支援等を円滑に進める為、ウェブ会議やメールに加え LINE も活用し、情報共有を密に行いながら、安全で素敵な時間を過ごしていただくよう努めました。

○役員会、社員総会の開催

法人の運営のため、以下の日時で理事会、社員総会を開催いたしました。

■理事会

2024 年 6 月 9 日（日） 13:00～15:00

2024 年 6 月 30 日（日） 15:00～16:00

2024 年 11 月 24 日（日） 13:00～15:00

2025 年 2 月 12 日（水） 書面による決議

2025 年 4 月 13 日（日） 13:00～16:00

■社員総会

2024 年 6 月 30 日（日） 13:00～15:00

2025 年 2 月 28 日（金） 書面による決議

事業報告の附属明細書

令和 6 年 5 月 1 日～令和 7 年 4 月 30 日まで

公益社団法人 ア・ドリーム ア・デイ

令和 6 年度は一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則 第三十四条に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」はない。